

ニュースレター（12月）

テーマ

1. 工夫ある経営で頑張っている中小企業（5件） 2頁

金型製作で頑張る下町の工場（有神山製作所・都島区）
企業向けに特化したユニークな英会話スクール（Office WILL・北区）
繊維技術の追求でオンリーワン・オリジナル製品の創造実現！（圓井繊維機械㈱・旭区）
ワインショップのニューウエーブ（Wine Shop FUJIMARU・中央区）
まちの“眠りの安心・安全”を支えるお店（おか寝装店・住吉区）

2. 地域の動き（4件） 8頁

「淀川ビジネス・エキスポ2008」大盛況にて開催！（新淀川支部）
「2008年チャオヨ！コリアタウン共生まつり」は人、人、人の波で大盛況！（生野区）
『おかげさまで40周年』～あべちか創業40周年～（天王寺・阿倍野地区）
大正区女性会「つつじ会」20周年記念式典開催（大正区）



大阪のあるべき姿と重点テーマを示す「ビジョン」と、その実現に向けた「アクションプラン」をとりまとめたのが「大阪版の創出プラン」です。「ビジネス・ホームドクター」である経営指導員が、地域商工業ご所属される「大阪」をつくりだすための支援をします。

新淀川支部（淀川担当） 北・都島・福高支部
旭・城東・鶴見支部 中央支部 此花・西・港支部
東成・生野支部 天王寺・阿倍野支部
大正・浪速・西成支部 東住吉・平野支部 住之江・住吉支部

工夫ある経営で頑張っている中小企業

金型製作で頑張る下町の工場

都島区にて金型製作を行う有限会社神山製作所（所在地：都島区都島中通 3-22-22 代表取締役：神山仁志氏）は、長年の厳しい経済情勢、経営環境の中で独自の技術力と職人肌の経験を活かし奮闘している。主な製品はプラスチックの金型で、成型メーカーから受注し納品している。この金型は射出成型とフロー成型で最終製品となる製造工程に使用されるものである。

また、金型には製品の形態により「丸物形」と「仕上げ形」があるそうで、同社ではどちらの受注も受けるが、特に丸物型を得意としているということである。例えば、丸物形にはキャップに類するものや丸みを帯びた工業製品の部品等、非常に多岐にわたっている。

今般、中小の金型製造業者はソフトの流出や中国等のアジア諸国の進出もあり、コスト面で非常に苦しい状況に立たされている。このような環境下で、少しでも品質の良い長年の使用に耐える金型製作を目指して頑張ってきたことが、同社の技術力の向上や大きな信用力に繋がっており、業界での信頼感を培ってきた。

受注に際し、設計の図面があれば比較的楽に製作に取り掛かることができるが、図面の無いケースでは余分な手間暇がかかり、経験がものをいうことも多い。「金型設計士」なる職業もあるとかで手数料の支払って図面を注文する業者もあると聞く。

使用する材料は受注のあった製品の用途等を検討して決定することになるが、機械での加工が多くなっている現在でも、昔ながらの方法でヤスリを使用して削らないと問題解決に繋がらないことも度々ある。加工するための機械の発達で、時間短縮という課題は飛躍的に改善されたが、難しくデリケートな金型には機械加工で解決しないこともあり、経験に裏うちされた微妙な技術力が物をいうようだ。「金型の命は設計と組み方」と神山社長が云うように企業秘密となっている部分が多々ある。

技術力のある同社でも近年、採算のよくない仕事が増えつつあり、商談だけで終わるケースも増えている。48歳となる後継者の子息は、技術の向上と経営という二つの課題のマスターに日々追われているが、下町の金型製造業として生き残りをかけて頑張ってもらいたいものである。

（北・都島・福島支部）

企業向けに特化したユニークな英会話スクール

英会話スクールは個人向けのものがほとんどであるが、Office W I L L（代表者：慎祥允氏 所在地：北区中津1-18-18 :050-1101-5619 URL:<http://www.office-will.net/index.html>）では法人向けの事業に特化し、他社とは一味違ったサービスを提供している。

Office W I L Lのユニークな点は、企業で働く従業員が英会話スクールに通うという

従来のやり方ではなく、企業のオフィスをそのまま英会話スクールそのものにするという新しい考え方を取り入れたところにある。すなわち、受講者はそのまま企業内に留まり、講師がその企業を訪問することにより企業の一室が英会話スクールに変わるのである。これにより、社内研修や福利厚生の一環として、社員が楽しみながらビジネスの現場で必要とされる英会話のコミュニケーション能力を習得できる機会が得られるようになっている。

海外に進出する国内企業が増える一方で、日本に来訪する外国企業の数も一段と増加している。このような外国企業の場合、自国では母国語でビジネスが出来るので、自社の製品やサービスを顧客に説明することは容易である。これに対して、進出先の日本では、文化や習慣の違いだけでなく言語が異なるためにコミュニケーションがとりにくく、円滑なビジネス活動に支障が生じやすい。Office W I L L は、このような異国間のビジネスの場におけるコミュニケーション・ギャップを取り除くことを事業目的の一つとして位置づけている。

例えば、スウェーデンから日本に進出してきた大手家具メーカー 社の製品は、北欧特有の素材、品質、デザインなどに特長があり、これを日本の顧客に正確に伝えることが必要であった。Office W I L L ではこの課題を解決するため、グループを大きく二つに分け、一つは接客用の英語を中心としたレッスンを受講できるクラスを実施し、もう一つは社内会議で使えるようなビジネス英語を学習するクラスを実施した。この結果、日本人従業員に 社の製品の特長を習得させることができ、現在では店頭での接客や販売活動がスムーズに行なわれている。

また、外資系コンピュータソフト制作会社のN社では社内の福利厚生事業の一つとして、従業員向けに英会話の習得を薦めている。この企業は米国に本社があり、社内では英語が多用されている。従って、社内のコミュニケーションとして英会話が不可欠であるため、福利厚生の一環として日本人社員が英会話を習得する機会を会社が与えたものである。Office W I L L では、講師がこの企業のオフィスへ出向いて研修を行なうため、通学の必要がないので受講生に好評である。

また、国内の企業が海外に進出する際の手助けもしている。例えば、ある弁理士事務所では、進出先の海外において現地のクライアントとの打合せや商談の際に英会話を必要としている。この弁理士事務所の場合には、ソーシャルコミュニケーションとしての日常会話と、法務的な場で必要とされる英語の双方を取り入れクラスを作っていくことで、双方の場面におけるコミュニケーション能力の向上を目指すこととし、研修事業が進められている。

同社の課題としては、優秀な講師の確保にある。優秀な講師には、実力や専門知識だけでなく、ライスタイルや性格なども求められる。客先の要望に応えるためには、専門ごとに講師を確保しておかねばならない。代表者の慎氏は、講師の採用に忙しい日々を送っている。

(北・都島・福島支部)

繊維技術の追求でオンリーワン・オリジナル製品の創造実現！

圓井繊維機械株式会社(本社：旭区高殿 2- 1 -15 : 6923-2615 代表者：圓井良氏 URL : <http://www.marusans.com/>)はニットセーターの製造に欠かせないリンクミシン(ニットの袖、襟といったパーツをつなぎ合わせるミシン)の専門メーカーとしてニッチトップの地位を確立した。それだけでなく、アパレル業界の国外進出に伴う国内市場の縮小化を機に、繊維強化複合材料の研究を進めている大学との連携を図り、新分野への進出を果たしている。現在は金属繊維編物の用途開発に取り組んでおり、医療器具への応用例として、2006年度「地域新生コンソーシアム研究開発事業」に採択された。

きっかけは従来国内に8社あったリンクミシンのメーカーが同社だけとなってしまった時期(98年)に、同社を頼って、ステンレスの細い糸をチューブ状に編んで、ひもにしてほしいという奇妙な注文が舞い込んできたことからである。依頼主はさまざまな素材、色、織り方、加工などによって新しい布地を作り出す著名なテキスタイル・プランナー(新井淳一氏)であった。様々な試行錯誤の後、ついに編機が完成した。編み上げたステンレスのひもは(同氏の)アート作品の素材となり、米国美術館にも展示された。

そこで圓井社長は考えた。編むものは衣料と思い込んでいたが、金属を編めるなら、他にも何かつくれるのではないか。ここから社長の行動力が発揮される。ヒントになればと、社会人大学院生として京都工芸繊維大学に通った。同大学も企業との共同開発に熱心で、繊維関連の事業を営む社会人が多く在籍する。一方で、知人や公的機関などに金属繊維の編機制作技術の売り込み先企業の紹介を依頼していたところ、折よく、依頼先の一つである東京都立繊維工業試験場から電線製造会社を紹介され、銅線用の編機を納入することができた。これを皮切りに、同社の技術が少しずつ知られ、注文が入るようになった。

糸の材質や太さ、編むものの形状によって編機の仕様は異なる。受注をこなすたびに、ノウハウが蓄積されていった。長年培ってきた繊維機械製造技術を活かして、ミシンや編機を改良し、LANケーブル用の電磁波シールドメッシュ(金属糸をチューブ状に編んだもので、パソコンのLANケーブルにかぶせて電子ノイズを防ぐ)や自動車の排気管周辺に使用されるヒートマウント用の金属繊維編物も製造した。



(各種ニットチューブ・金属繊維編物サンプル)

金属繊維用特殊編機を自社で開発しているため、あらゆる顧客ニーズに繊細に対応できることが同社の強みである。今では年商の半分を産業用原材料が占めるようになっている。

繊維機械製造の特殊加工と組立技術。縫製と編立てに関する技術とノウハウ。医工・産学連携と幅広い異業種とのネットワークを活用して、「編・織・組・縫」等の繊維産業技術の異業種への応用に多大な貢献をしている会社である。

自社のノウハウ、新素材製品を広く周知頂き

たいと、今回大阪商工会議所主催の「大阪勧業展 2009」への出展の予定である。是非、会場にて同社の技術をご確認されてみては。

(旭・城東・鶴見支部)

ワインショップのニューウエーブ

平 18 年 3 月黒門市場近くにオープンした Wine Shop FUJIMARU (所在地: 中央区日本橋 2-15-3 : 6643-2330) には、シニアソムリエ 3 人とソムリエが 1 名いる。棚に並ぶアイテムはテクニカルシートを見る前に、自身がテイस्टイングしてセレクト。問屋を通さず直接輸入業者から、厳選した商品を仕入れている。

7 坪ほどのセラーには、仏、伊、豪、NZ 産を中心に約 450 種のワインが並んでいる。

ソムリエ資格をもつスタッフが顧客のコンセプト・メニュー・雰囲気・季節にふさわしいワインを提案し、業務用では即日、保冷車で配達している。

請求書も郵送ではなく、持参することで、得意先との対面での情報交換を心がけており、その店に最適の商品と店舗運営のノウハウを提供している。

保冷倉庫は大阪市内に二箇所あり、品質の保持と、迅速な配送を可能にしている。

創業者の藤丸氏は海外でのワインの生産、レストラン店員・支配人、ソムリエを経験されており、その他のスタッフも同じような経験を持っている。

さらに、藤丸氏はコンサル能力を高めようと、中小企業診断士の資格取得も目指している努力家である。

同社は、対面の提案型営業と品質の良さがお客様の支持を得て、毎年売上が倍増している。

来春には堺筋本町に、ワインの小売店の出店を予定している。

経営者の理念に共感した優れた人材が事業を支えてきており、事業拡大には魅力ある人材の確保が課題である。

(中央支部)

まちの“眠りの安心・安全”を支えるお店



『おか寝装店』(代表者: 岡 治氏 所在地: 住吉区山之内 3-14-5 : 6691-3034) は、杉本町駅前本通商店街のやや西側に位置する“まちのふとん屋さん”。主に年配の顧客に支えられており、主力商品は綿わた、羽毛、羊毛、シルク製の寝具である。

同店のコンセプトは「より快適な眠りのために」。安心・安全で“身体にやさしい”商品を取り揃えている。希望サイズのふとんやまくらなども『ハンドメイド』している。

昨今、『食』の安全・安心がニュースでとりあげられるが、一方で、人生の1/3を過ごし休息や安らぎを得るための『寝』の安全・安心に関心を向ける人は多くない。寝具は、一人ひとりの体質と重さ・軽さや生地や風合いなど好みも含めて個性が大きいものであるのに、とかく、“安けりゃ”よいと思われがち。結果、そんな商品の購入者から購入したお店に対して、中身の綿があつという間にダメになり思うよりも寒い思いをするだけでなく、皮膚がかゆくなったり、カバーの色落ちがひどいなどのクレームが絶えないようだ。

同店は1956年に同氏の父親が創業。その後同氏が継いだが、振り返られて良かったことは、「事業継承後先代が同店の経営からすぐに手を引いてくれたこと。同氏を信頼して経営を任せてもらえたことだ」とのこと。

同店の売りは、寝具の規格品だけでなく、素材では生産地（例 ポーランド・クオチコ農場産ホワイトマザーグース）から質まで十分に把握したうえで『オーダーメイド』も扱い、販売後もその「メンテナンス」まで行うこと。“売りっぱなし”ではない。店主いわく「基本的に全商品を把握している」。店内ではふとんのチャックを開けて「中身」（素材）を顧客に見てもらったり、寝心地の体感もできるようにしている。

顧客には「安全、安心、快適、すがすがしさ、目覚めたときに昨日の疲れがとれている」商品を提供できるように、親身に顧客の相談に乗る。場合によっては、かさばるふとんの引き取りなど、“かゆいところに手がとどく”サービスも行う。顧客からは、「何年もまくらを探していたが、（同店で購入した後）肩こりや冷え症などが改善された。」といった声が寄せられている。

『ジョイス』（Joy'th）というグループにも最近に加盟された。これは、ふとん専門店とメーカー各社がタイアップして作った新しいブランド。羽毛の精製や加工、シーツの生地織りから糸の一本に至るまですべて国内で一貫生産。コストなどの問題で、作りたくてもなかなか作れなかったような、ふとん職人のこだわりが詰まっている。

同店は昨年5月に、当支部パソコン講習会等を活用したいとして本所に入会された。そのきっかけもあって、経営指導員が何度となく巡回訪問し、マーケティング等の経営計画の立て方やパソコン活用などの助言を行っている。当支部から今年12月発行の「住吉区商店街お買物ブック」のなかでもPRされている。同店の「売り」や「経営方針」を再確認する機会ともなり、商売繁盛のために前向きな経営を行う好循環につながることを期待している。



馴染みの顧客を保ちながらも、通行量の多いスーパーマーケットの隣に構える方が今後の経営に大きなプラスであるとの方針から、昨年10月、現在地に店舗を移転も行った。

今後の抱負は、「『睡眠環境コーディネーター』の資格を夫妻で取得し、一層、顧客の睡眠における悩みに応じて最適な寝具を提供したい。」と語る。当支部としては、

このような同店を引き続き応援したい。

(住之江・住吉支部)

地域の動き

「淀川ビジネス・エキスポ 2008」大盛況にて開催！

新淀川支部では、地元金融機関（十三信用金庫）とともに、11月18日、19日の2日間、新大阪センシティを舞台に、3回目となる「淀川ビジネス・エキスポ 2008（実行委員長：小嶋淳司・新淀川支部長（がんこフードサービス株式会社））」を開催した。会期中は、淀川3区（東淀川区、淀川区、西淀川区）ゆかりの38社・1団体が40ブースで出展し、のべ2,145名のビジネスマンとの間で熱心な情報交換や、具体的な商談が繰り広げられた。



この展示会は「淀川ブランドの確立と発展」がメインテーマ。大阪の工場地域と言えば大阪市東部が連想されやすいが、「製造品出荷額等」の第一位は淀川区で、第二位が西淀川区（「H18大阪市工業統計」より）である。こうした市内最大の工業地帯と言える当地の高い技術力を持つ企業や、魅力ある商品・サービスを取り扱う企業を幅広く紹介しようとするもの。

また会場内では、「時代に求められる新しい価値の創造～江崎グリコのヒット商品・ビジネスモデル構築の知恵（講師：江崎グリコ株式会社オフィスグリコ推進部本部統括マネージャー・相川昌也氏）」と題する基調講演が開催されたほか、「人材育成」「事業承継」「知的財産権」「労務問題」など、ビジネスに直結するセミナーも開催。のべ350名を超える聴講者が参集し、熱心に耳を傾けた。

さらに、今回は特別展として、「事業継続ノウハウ・フェア～企業の未来への継続のために…」を併催。事業を次代につなぐ「事業承継」、被災等からの早期普及を目的とする「事業継続計画（BCP: Business Continuity Plan）」に関する様々な資料を、公的機関やBCP支援企業の協力を得て提供したほか、具体的なBCP運用方法についてパンフレットやパネル、DVDを活用して紹介した。

会期中にとったアンケートによると、出展企業の7割が「大変良かった」、「よかった」と評価し、具体的な商談につながった案件も多数報告された。また来場者も7割以上が「大変良かった」、「よかった」と回答。出展企業からは、「名刺交換した企業が近距離に立地していることから後のフォローがやりやすい」、「小規模な展示会であることが逆に自社の存在をPRできる」といった感想が寄せられたほか、来場者からも「地元の優良企業の存在を知るきっかけとなった」など好評な意見が多かった。小規模ながらも、地域の特性に応じた、エリア内展示会開催のニーズの高さを改めて実感した。

（新淀川支部）

「2008年チョアヨ！コリアタウン共生まつり」は人、人、人の波で大盛況！

11月9日（日）生野区の御幸通り商店街（生野コリアタウン）で、御幸通中央商店会主催による「2008年チョアヨ！コリアタウン共生まつり」が開催された。このイベントは生野コリアタウンの「食文化・伝統文化」を紹介し、地域ブランド力と集客力を高め地域住民とのつながりを深めることが目的である。

当日はあいにくの曇天で寒い1日であったが、1万人を超える人出で賑わった。『遊んで！食べて！つながろう！』をスローガンに、通り一帯には焼肉、韓国式巻きずし・おでんなどの屋台が多数並び、行列をつくる人気であった。テレビで話題となった宮廷菓子「福糸玉」も職人さんの実演つきで販売されていた。幸せを呼ぶというお菓子は極細の水あめの糸で作られており、繭玉のように綺麗。冷凍して食べるとおいしいと教えてもらった。



オープニングは民族学校の子供たちによるパレード。建国小学校のプムル隊や、大阪朝鮮第4初級学校の農楽隊、生野区の花「あじさい」をイメージしたハッピーを着て踊る地元中学生による生野ニュー踊りなどで祭りが始まった。

ステージでは民族舞踊や民族楽器の演奏・バレエなど盛りだくさんのプログラムで、会場に入りきれず順番待ちが出るほどの盛況。



併催企画の写真展「大阪／生野コリアタウン『在日』の歴史の記憶」や「ペ・ヨンジュンのファンたちが描いたイラスト原画展」の会場は中高年の女性客で埋め尽くされ、ヨン様人気を実感した。ステージの最後に登場したのは、大池中学校PTA「おやじバンド」。団塊の世代にはなつかしい「イムジン川」の歌を共に口ずさみながら、日韓民族の共生を願

った1日であった。

大阪コリアタウンは、JR鶴橋駅と桃谷駅から等距離位にある商店街で、済州島の色濃い地域。かつて韓国・済州島と大阪・築港の間に定期便が運航されていた影響で在日コリアンの方が多数住むようになったのだとか。東、中央の両商店街にはそれぞれ「百済門」「御幸通中央門」が立ち、多くの在日韓国・朝鮮人はじめ地元の人々の生活スペースでありながら、観光客が多く訪れるスポットとなっている。最近では学校や各種団体が「異文化体験」「歴史散策」「人権研修」として訪



問受入れ体制が整いつつある。キムチやチヂミの食糧品、チマ・チョゴリの専門店など、ほとんどが在日コリアンが経営する店である。そんな中、オープン1年を迎える喫茶カフェ「流れる千年」は、1Fが朝鮮王朝時代の民具などを置いてあるミニ博物館とショップ、2Fが韓茶カフェとなっており、韓国の伝統文化へ思いをはせながらゆっくりと韓茶を楽しめる空間である。 코리아タウン散策の折には是非立ち寄っていただきたい。

(東成・生野支部)

『おかげさまで40周年』～あべちか創業40周年～



大阪万博を1年と少し後に控えた、まさに日本高度成長期真っ只中の昭和43年11月30日、大阪南部の交通の要衝、天王寺・阿倍野地区(地下鉄およびJR天王寺駅、近鉄あべの橋駅、阪堺電車天王寺駅前駅の北側)に総面積約9,700㎡(現在)、店舗面積約3,800㎡、大阪市内で5番目の地下街として『アベノ橋地下センター(通称“あべちか”)』は誕生した。途中、平成11年10月リニューアルグランドオープンし、新

たに“光と水と緑のある”「ナチュラルガーデン」を“あべちか”のコンセプトとした。これは地下空間に居ると自然から乖離する体感を少しでも和らげようと企画されたもので、地下街中央には噴水とグラスファイバーを配し“光と水”を、通路にはプランターを並べ“緑”を配し「ナチュラルガーデン」コンセプトを体現している。またそれとは別に地下街に居ながら一日の空の変化を照明で表現している天井もあり基本コンセプトをサポートしている。

さて今回開催した40周年の各イベントであるが、そのキーワードは40周年の“4”。まずは『40周年還元企画～400円キャッシュバックセール～』を実施。これは、もれなく400円が還元される大阪人にはうれしい“お得感”いっぱいの企画。また広場においては『タイムスリップ「昭和43年」展』と銘打ち、“あべちか”がオープンした昭和43年の出来事や流行したものを紹介。またその年に登場した商品等を展示し当時を存分に懐かしんでいただいた。もちろん“あべちか”各店舗も『40周年記念協賛セール』として主に“4”にまつわる割引や記念品プレゼントといった感謝の還元協賛セールを行い、『おかげさまで40周年』記念イベントは盛況のうちに終了し、誕生から40年、地域の方々や天王寺公園、四天王寺そして一心寺等へ行かれる方々のオアシスとして存在感を示してきた“あべちか”は50周年、さらには100周年へと続く新たなページを刻みはじめた。

“あべちか”は現在39の店舗(うち飲食店は約6割)があり、原則午前10時から、物販店

は午後9時まで。飲食店は午後10時まで営業。定休日は奇数月の第3火曜日である（1月1日元旦はお休み）。

お得情報：元旦明け2日から4日までは新春イベントとして、1時間おきに1日8回抽選の、1等1万円の利用券、2等千円の利用券が当たる『富くじ抽選会』が開催される。また毎週月曜日には『ハッピーマンデー』として“あべちか”での購入金額により週替わり各種“お得”なことが起こるイベントも開催中。

（天王寺・阿倍野支部）



大正区女性会「つつじ会」20周年記念式典開催

「つつじ会」は大正区の女性経営者、商店主のおかみさんを中心に昭和63年秋に結成された。今秋20周年を迎え、この11月1日11時から道頓堀ホテルにて記念式典、記念講演会、懇親会を開催した。

大正区長をはじめ、地元警察署や商店街連合会、工業会等から大商支部役員が来賓として臨席し、会員、事務局を含め総勢55名が参加し盛会となった。

最初に会長の衣笠愛子氏より、開会の挨拶がなされ、その中で20年にわたるつつじ会の活動



講師より健康法、発声練習についての説明を受け熱心に取り組む参加者

が紹介された。とりわけ、エコロジーの言葉が浸透していなかった頃からリサイクル活動に取り組み、地球温暖化防止に効果があるといわれるケナフの栽培を通じ、地域社会への環境意識の啓発に尽力してきた活動内容については、来賓の祝辞の中でも取り上げられ、賞賛の声が寄せられた。

記念講演会として、花月堂会長の湯川徳太郎氏による「関西商家のおかみさん」と題した講話を伺った。関西商家のおかみさんに必要な心構えや、人生を楽しく有意義に生きていくために

有効な考え方について、具体例を挙げながら分かりやすい話を聞くことが出来た。また、湯川氏の指導の元、健康と円滑なコミュニケーションについて学ぶために、参加者が総立ちになって発声練習に挑んだ。

懇親会では、つつじ会よりスピノフしたグループが「大阪メチャハッピー踊り」を演じた。特に今年は、つつじ会の20周年を記念し新曲「大正ロック」が投入されており、歌詞の随所に



「大正ロック」を披露する「アゼリア大正 Bi-jo 連」

大正区の名所が盛り込まれたアップテンポの曲にのり、スタイリッシュな踊りをお披露目した。

また、つつじ会設立当初より役員として会の運営に尽力した会長以下役員5名に対し、大阪商工会議所より感謝状が送られた。

最後に、つつじ会設立時の大正支部事務長であった新家正信氏による万歳三唱にてお開きとなった。

(大正・浪速・西成支部)

大阪商工会議所 支部

新 淀 川 支 部 〒532-0025 淀川区新北野 1 - 1 4 - 1 1 TEL.6302-5977
(淀川三区担当) 大阪新北野第一ビル 2 階 FAX.6302-5978

北・都島・福島支部 〒530-0047 北区西天満 5 - 1 - 1 TEL.6130-5112
ザ・セヤマビル 3 階 FAX.6130-5113

旭・城東・鶴見支部 〒536-0005 城東区中央 2 - 1 2 - 14 TEL.6930-2244
柏木ビル 2 階 FAX.6930-9898

中 央 支 部 〒541-0051 中央区備後町 3 - 4 - 9 TEL.6222-2221
輸出繊維会館 6 階 FAX.6222-2480

此花・西・港支部 〒552-0007 港区弁天 1 - 2 - 3 0 TEL.6599-1537
オーク 4 番街 3 階 FAX.6599-1538

東 成 ・ 生 野 支 部 〒537-0012 東成区大今里 3 - 1 4 - 2 7 TEL.6975-5662
I T T ビル 2 階 FAX.6975-5663

天王寺・阿倍野支部 〒543-0056 天王寺区堀越町 1 3 - 1 8 TEL.6771-2211
銀泉天王寺ビル 5 階 FAX.6771-2257

大正・浪速・西成支部 〒556-0017 浪速区湊町 1 - 4 - 3 8 TEL.6649-5252
近鉄新難波ビル 11 階 FAX.6649-5253

東住吉・平野支部 〒547-0034 平野区背戸口 5 - 6 - 1 7 TEL.6797-1155
小谷ビル東館 4 階 FAX.6797-1199

住之江・住吉支部 〒558-0051 住吉区東粉浜 3 - 2 7 - 1 2 TEL.6674-1125
住吉住之江産業会館 2 階 FAX.6674-1138